



農業技術センターニュース

		目次			
	中山間地域の雨よけ米ナス圃場における土着天敵の発生状況	… 1		高温期におけるシシトウの腐敗果軽減対策	… 4
	ショウガの新病害「紅色根茎腐敗病」	… 2		ブルースター ‘ユキホワイト’ の効率的な挿し木繁殖法について	… 5
	農薬散布による作物への薬液付着率と散布直後の残留濃度	… 3		茶害虫チャノミドリヒメヨコバイの卵に寄生するホソハネコバチの一種	… 6

中山間地域の雨よけ米ナス圃場における土着天敵の発生状況



写真1 ヒメハナカメムシの一種



写真2 ハダニバエの一種

中山間地域の雨よけ米ナス栽培において、土着天敵を有効活用するために、農薬の使用を極力抑えた雨よけ米ナス圃場における土着天敵の発生状況を調査しました。その結果、アザミウマ類に対しては2種、ハダニ類に対しては3種、アブラムシ類に対しては6種の天敵の発生がみられました。特に、ヒメハナカメムシの一種（写真1）はアザミウマ類、ハダニバエの一種（写真2）はハダニ類に対して高い密度抑制効果が認められました（図1、2）。しかし、これら天敵の密

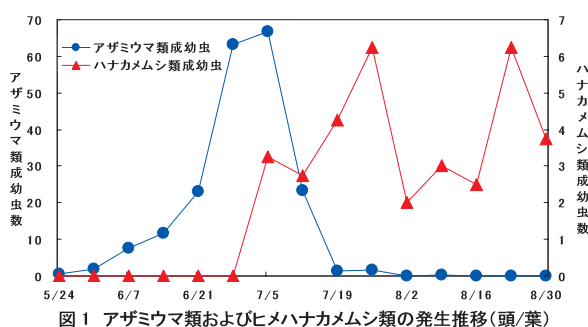


図1 アザミウマ類およびヒメハナカメムシ類の発生推移(頭/葉)

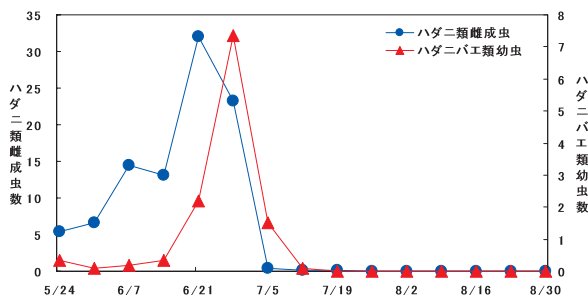


図2 ハダニ類およびハダニバエ類の発生推移(頭/葉)

度の増加時期は6月下旬以降であるため、栽培初期には害虫による被害が発生しました。そこで、栽培初期の被害を回避するために、定植時のネオニコチノイド系粒剤の処理、害虫発生初期の市販天敵の導入および天敵に影響の少ない農薬の散布などを組み合わせ、補完的に土着天敵を利用する総合的害虫管理技術を確認したいと考えています。

(環境システム開発室 中石一英
088-863-4917)